



講演する加藤氏

市民講座 歯ぎしり 最新の到達学ぶ 複数のタイプ

睡眠中でも脳が活性化し、神経回路が活動することによって歯ぎしりが生じると考えられている。睡眠中、歯ぎしりが生じるメカニズムについて最新の到達を学ぼうと、「保険でよい歯科診療を」大阪連絡会は10月22日、市民講座「悪いことばかりではない!? 歯ぎしりのメカニズム。歯ぎしりの不思議」をM&Dホールで開き、ウェブ視聴も含め206人が参加した。

講師の加藤隆史氏（大阪大学大学院歯学研究科 教授・写真）は、歯ぎしりについて、「睡眠中、脳は寝ていない。歯ぎしりの原因は噛み合わせではない。また、途中で目覚める無呼吸症候群と異なり眠りが障害されにくい」とメカニズムを解説。さらに、「原因は一つではなく多要因、歯ぎしりにはいくつかのタイプがある」とし、歯ぎしりをしているも身体的・精神的な健康に問題がない場合もあれば、歯ぎしりの存在が何らかの病態と関連がある可能性など、複数のタイプがあることを説明した。コントロールの方法については、歯ぎしりの70%が仰向けで発生することを話し、睡眠時の姿勢を試みることで、またストレス管理・快眠に資すること、喫煙・飲酒・嗜好品などリスクファクターを避けることなど普通の健康管理と同様だが、効果をもたらす可能性があることなども紹介した。

10・26 歯科決起集会・国会議員要請

歯冠修復・欠損補綴など基礎的技術の抜本的引き上げ求める



右から南端氏、森山氏、戸井氏



左から小澤氏、宮本氏、中西氏



左から大橋氏、西川氏、江原氏

10月26日、保険で良い歯科医療を求める歯科決起集会が衆議院議員会館で開かれ、協会から小澤力理事長、戸井逸美副理事長、江原豊・中西幹夫各理事、南端理伸評議員、技工士連絡会から西川勝美氏他が参加した。集会では、仙台歯科理工士専門学校の伊藤多佳男校長が発言。歯科技

士の労働実態は非常に厳しく、長時間労働でも手取り300万円を切っている。時給に換算すると数百円にしかならない過酷な状況を紹介、労働環境の改善を訴えた。集会は現地に200人、WEB150人、計350人の医療機関関係者・市民のほか、国会議員16人が参加した。

集会に先立って厚労省要請と国会議員要請に取り組み、厚労省には診療報酬の大幅引き上げと歯科技工士の待遇改善を訴えた。今回、歯科技工士の有資格者が初めて技工に加わったことが分かった。7対3に準じた委託技工を実現するために、歯冠修復、欠損補綴を中心とした基礎的技術に関

しての抜本的な引き上げを求めた。国会議員への要請では、森山浩行衆議院議員（立憲）と宮本岳志衆議院議員（共産）、大橋裕子参院議員（社民・厚労委員）、山下芳生参院議員（共産）の秘書が面談に応じ、「診療報酬の大幅な引き上げを求める」「患者の窓口負担の軽減を求める」署名の紹介議員を引き受けてもらった。そのほか与野党の議員は秘書が応じ、江原氏が「歯科医療費は、最低でも4兆円必要だ」と要望した。

博洲万博 税金むだづかいゆるされない

おおさか市民ネットワーク代表 藤永のぶよ



「国際博覧会条約」では、万博を「公衆の教育を主たる目的とする催し」と定義しています。気候危機時代の今、公衆

闇の税執行

万博工事で想定外にこずいているのが「軟弱土壌問題」です。国・大阪府市・財界で3等分負担と決めた会場建設費。2018年当初は1250億円でしたが、2020年に「リング状の遊歩道建設」を理由に600

ゼネコンの実験の場

これまで「夢洲」には、万博会場の2区と1R地域の3区に、水抜き・地盤固めのための「プ

ラスチック・ボード・ドレン（ストローの大型で水抜き・地盤固めをする1本3万円）が必要とされました。これだけでも75万本・188億円。別途、会場の一部を早急に地盤固めするための対策に54億円が使われています。外国パビリオンの入る「木製リング」の地下部分には、「浮き基礎工法」で施工されていますが、ここにも多額の工事費が、日本のゼネコンの実験の場です。それも大阪市負担かも知れませぬ。

インフラに大阪市が7割負担
会場建設費だけではなくこっそり執行されているのが、万博会場内インフラ整備費1129億円です。この費用負担は、国負担150億円、大阪府10億円、大阪市71%の809億円、地下鉄会社160億円です。「国主催の万博になぜ大阪市が7割も負担するのか!」と聞いたところ、協会職員は「インフラは大阪市のものだから」と言いました。

誰も住んでいないのに
誰も住んでいないのに、夢洲の道路や地下鉄、駅前施設、上下水道、電気設備など大阪市民には必要ありません。夢洲には、1本のトンネルと1本の橋、ここは



大型コンテナトラックとIR工事車と観光バスで渋滞します。トイレも飲み水も足りません。台風や豪雨では陸の孤島になります。「夢洲万博」は無理でムダです。

国会提出 はじまっています

「診療報酬の引き上げと患者負担軽減求める」会
員署名
ご協力ください(FAX可)

再生可能エネルギーの技術革新に全力を注ぎ安全なクリーンエネルギー政策にシフトして欲しい。(N)

歯界

関西電力は、東京文化財研究所や京都大学などと連携して、木材を断熱材で覆い、温風だけで文化財の害虫を駆除する新技術の全国展開を始めた。温度や湿度を細かく調整して木材の含水率を維持し、貴重な文化財の変形や変色を防ぎながら害虫だけを死滅させる事ができるとのことだ。木造文化財の害虫駆除には従来薬剤による処理が一般的であったが、環境汚染や人体への悪影響が問題であった。この新技術が普及すれば、安全かつクリーンな方法で文化財保護が可能となる。画期的であり、こういった技術開発は推進して欲しい。

東日本大震災での福島原発事故でもわかる通り、原発の安全神話は破綻している。核のゴミ処理問題も、解決できない状態でも何故原発を推進できるのか。